

瀬尾建設

2024 年度 環境経営レポート

(対象期間 2024年1月1日 ~ 2024年12月31日)



発行日： 2025年2月10日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要	4
認証・登録の対象組織・活動	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	
環境経営計画の取組結果とその評価	7～8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	

環境経営方針

<環境経営理念>

当社は、企業の社会的責任を果たすため、建築工事業並びに土木工事業を通じて地球上に共存する自然や生命体の存続に悪影響を及ぼす全ての要素の排除を目的とした環境保全活動を、現在の業務に取り込み、推進していきます。この環境経営方針は、全従業員に周知します。

<環境保全への行動指針>

- 1 . 環境経営の継続的改善を誓約します。
- 2 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 3 . 二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 4 . 廃棄物の発生抑制に努めます。
- 5 . 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 6 . 環境に関しての教育を全従業員に行い、環境保全意識を高めます。
- 7 . 環境に配慮した工事に努めます。
- 8 . 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日：2024年1月10日

代 表 瀬尾 和彦

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

瀬尾建設
瀬尾 和彦

(2) 所在地

本 社 兵庫県豊岡市出石町嶋777
事務所 兵庫県豊岡市出石町福居774-3
倉庫 兵庫県豊岡市出石町福居 横関794-2

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 瀬尾 武志 TEL : 0796-52-5073
担当者 瀬尾 裕美 FAX : 0796-52-6548

(4) 事業内容

一般建築業
土木工事業

(5) 事業の規模

売上高 5,000 万円 (2023年度)

	本社	事務所	倉庫	合計
従業員 名	1 名	4 名	0 名	5名
延べ床面積 m ²	60 m ²	35 m ²	216 m ²	311m ²

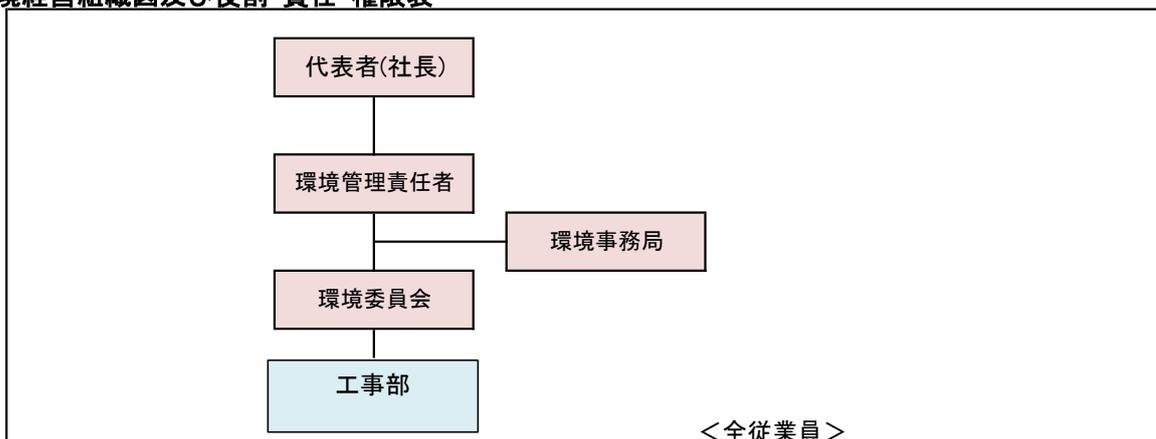
(6) 事業年度 1月1日 ~ 12月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 瀬尾建設
対象事業所 : 本 社
事務所
倉庫

対象外 : なし
活動 : 建築工事業、土木工事業

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	38,774	29,447	30,636
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	60	59	65
産業廃棄物排出量	kg	54,516	91,998	93,580
水使用量	m ³	811	246	245

※二酸化炭素排出係数 0.419 kg-CO₂/kWh 令和5年度関西電力の調整後排出係数メニューJ

※負荷の実績は工事現場を含む

※上記二酸化炭素総排出量は、電力の使用・自動車燃料、暖房及び給湯燃料によるCO₂排出量の総計

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	2023年			2024年		達成率	評価	2025年	2026年
		(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)				
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	9,387	9,294	8,433	110%	○		9,200	9,106	
	基準年度比		99%	90%				98%	97%	
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	16,626	16,459	19,342	85%	×		16,293	16,127	
	基準年度比		99%	116%				98%	97%	
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	26,013	25,753	27,775				25,493	25,233	
一般廃棄物の削減	kg	59	58	65	90%	×		58	57	
	基準年度比		99%	110%				98%	97%	
産業廃棄物の削減	kg	91,998	91,078	93,580	97%	×		90,158	89,238	
	基準年度比		99%	102%				98%	97%	
水使用量の削減 (節水の啓発)	m ³	246	244	245	99%	×		241	239	
	基準年度比		99%	100%				98%	97%	
環境に配慮した工事の推進	行動目標(次項による)									

※対象化学物質の使用はありません。

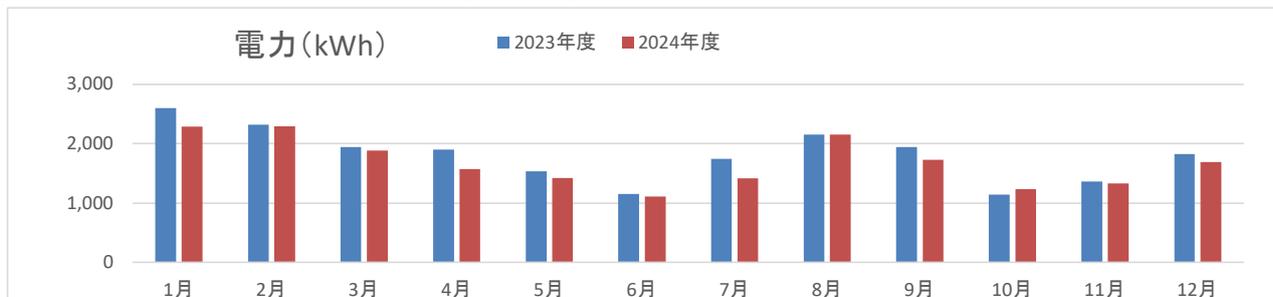
※表中の「二酸化炭素排出量合計」には生活暖房用途の二酸化炭素排出量を含みません。

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	結果評価	取組の振り返り、次年度の取組概要
数値目標	○	省エネタイプ複合機に交換した結果、微量だが結果に反映しており、目標達成できた。次年度も継続して取組みたい。また、次年度は昼休消灯を検討し、さらなる二酸化炭素削減に取り組みたい。本年度の内容を継続する。
・空調温度の適正化(冷房20℃ 暖房27℃)をする	○	
・不要照明の消灯をする	○	
・ノー残業デーの実施をする	○	
・省エネタイプ複合機へ交換	○	

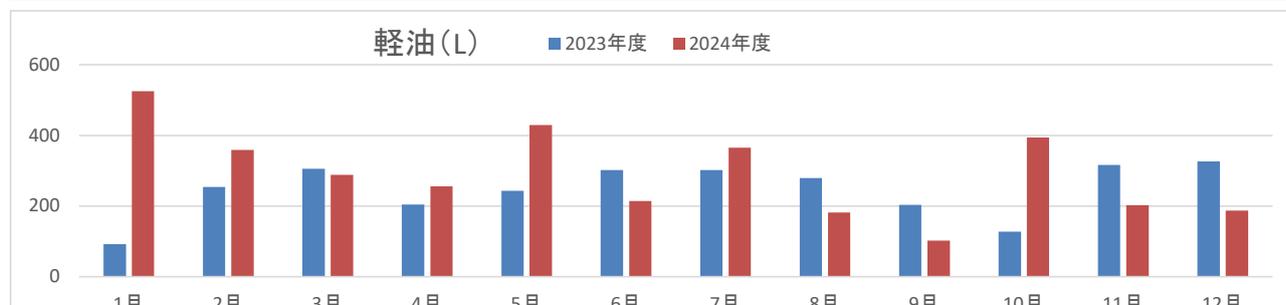


単位kWh	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2023年度	2,600	2,322	1,945	1,901	1,535	1,153	1,743	2,154	1,940	1,143	1,366	1,828	21,630
2024年度	2,288	2,294	1,885	1,572	1,423	1,109	1,414	2,157	1,728	1,233	1,333	1,690	20,126

自動車燃料による二酸化炭素削減	結果評価	取組の振り返り、次年度の取組概要
数値目標	×	大型工事があり現場も遠方が多く社用車のガソリン使用量・重機の軽油使用量が増加し目標未達成となった。アイドリングストップの徹底、営業活動の見直し、効率にいいルートでの配送を取り入れたい。遠隔地の営業はリモートを取り入れることで取組目標の達成につなげたい。本年度の内容を継続する。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	
・エリア別営業活動の見直し	○	

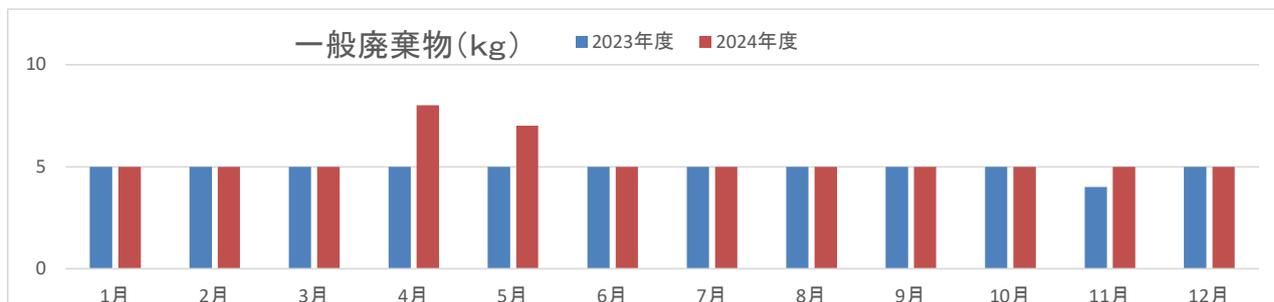


単位L	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2023年度	469	330	254	385	294	277	285	352	270	352	284	327	3,879
2024年度	335	276	348	280	457	348	610	427	285	371	300	400	4,437



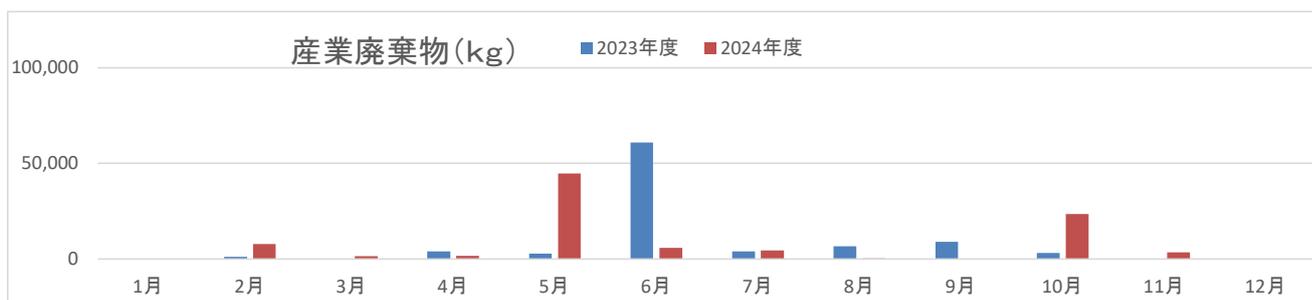
単位L	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2023年度	92	254	306	205	243	302	302	279	203	127	317	326	2,956
2024年度	525	359	289	257	429	214	365	182	103	395	203	187	3,507

一般廃棄物の削減	結果評価	取組の振り返り、次年度の取組概要
定性目標	×	事務所の大掃除により目標未達成となった。分別は従来より行っており、継続して取り組む。 営業部門でも顧客対応の電子連絡化により、目標達成に繋げたい。 目標達成手段として、シュレッダーを廃止してミスプリントの再利用を検討したい。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・帳票電子化	○	



単位kg	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2023年度	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	5	59
2024年度	5	5	5	8	7	5	5	5	5	5	5	5	65

産業廃棄物の削減	結果評価	取組の振り返り、次年度の取組概要
数値目標	×	請負業務の規模・工種等の影響を大きく受けており目標未達成となった。今後は対策発注ミスによる資材の過不足の削減の取組、また作業手順の打ち合わせを毎日し、工事のやり直しを減少させること、また建築工事使用の木材を、土木工事(型枠材・丁張材)に流用することにより目標達成につなげたい。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・建築工事資材を土木工事に流用	○	



単位kg	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2023年度	0	1,323	0	4,100	2,775	60,950	4,110	6,590	9,110	3,040	0	0	91,998
2024年度	0	7,840	1,580	1,740	44,720	5,740	4,580	330	0	23,500	3,550	0	93,580

水道水の削減	結果評価	取組の振り返り、次年度の取組概要
数値目標	×	作業車の洗車回数を減らす、節水バルブを取り付ける等の取組結果、達成目標には至らなかった。今後も節水ポスター掲示、定期的な啓発等の取組を進め水使用量の削減に努めたい。
・節水ポスター掲示、定期的な啓発	○	

環境に配慮した工事の推進	結果評価	取組の振り返り、次年度の取組概要
・工事の効率化	○	FAXでのやり取りをメールに変更し、また現場でのやり取りをラインに変更するなどの効率化を図り、環境にも配慮し、また作業効率もあがった。次年度も本年度の内容を継続していく。
・作業ミスの防止	○	
・顧客クレーム削減	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	規制内容	評価
廃棄物処理法	マニフェストの交付、廃棄物収集運搬業者の許可の確認、マニフェスト交付等状況報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	一定規模以上の工事の分別解体及び再資源化の実施義務	遵守
騒音規制法	特定の建設作業の工事開始7日前までの作業の届出	遵守
振動規制法	特定の建設作業の工事開始7日前までの作業の届出	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録の保存 業務用エアコン、冷蔵・冷蔵庫等の有無の事前確認、発注者への書面説明、書面の3年間保存	遵守
大気汚染防止法	解体工事でのアスベスト使用の有無の事前調査の実施と発注者への調査結果の説明	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定: 火災の発生	
■実施日: 2024.6.20	■実施場所 倉庫
■参加者: 4人	■実施内容: ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価: 有事の際の動作確認ができ、また従業員同士コミュニケーションをとり対応にあたること、設置場所の確認等、再認識できた	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	<p>倉庫にて火災が発生したことを想定し「火災対応手順書」に基づいて、火災対応手順テストを実施した。</p>  <p>消火訓練状況</p>

□代表者による全体の評価と見直し・指示

今年度は電力による二酸化炭素削減の項目で目標を達成することができた。
 次年度も本年度の内容を継続しさらなる削減に努めていきたい。
 自動車燃料による二酸化炭素削減項目が目標未達成となった。
 原因として大型工事があり現場も遠方が多く社用車のガソリン使用量・重機の軽油使用量が増加したことが考えられる。
 対策として次年度アイドリングストップの徹底に取り組んでいく。
 一般廃棄物の削減も事務所の大掃除の影響で目標未達成となった。
 目標達成手段として、シュレッダーを廃止してミスプリントの再利用を検討したい。
 また産業廃棄物の削減も目標未達成となった。
 原因として請負業務の規模等の影響を大きく受けており、池廃止工事や住宅改修工事などにより産業廃棄物量が増加した。
 対策として建設混合廃棄物などを今まで以上の分別を心がけ取組みたい。
 さらに水使用量の削減も作業車の洗車回数を減らす、節水バルブを取り付ける等の取組結果、目標未達成となった。
 今後も節水ポスター掲示、定期的な啓発等の取組を進め水使用量の削減に努めたい。
 エコアクション21の取組により、この活動を身近に感じ、社員全員が環境問題に向き合い、日々行動できる体制になったことは大きな成果である。

2025年 1月 10日

瀬尾 和彦

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

緑のカーテン設置



緑のカーテン設置



LED照明に交換

